創造性豊かな人を育むまち

施　策

子どもたちの生きる力を育てる

現状・課題

青少年は、生活の場である家庭、学校、地域社会の中でさまざまな体験を通じて、生きていくための資質や能力を身につけていきます。

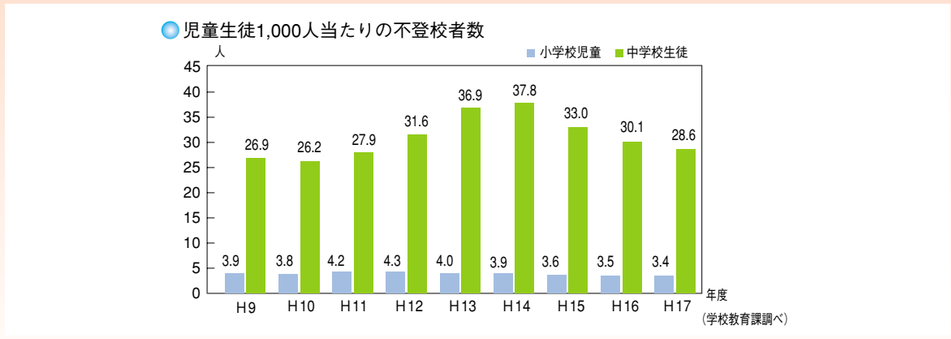
近年、子どもたちは、家の中でテレビや漫画を見たり、テレビゲームやパソコンなどをしたりして過ごすことが多くなり、野外に出て家族や友達と一緒に遊んだり、地域・社会活動に参加したりすることが少なくなっています。

「家族形態の多様化」、「少子化」、「生活様式の変化」、「都市化」など家庭や社会環境が急激に変化する中で、子どもを取り巻く安全が脅かされている一方、青少年による重大事件や非行、いじめ、不登校などさまざまな問題への対応が求められています。

このため、地域の次代を担う、心身ともに健康で豊かな感性と人間性を持った青少年の育成に、社会全体で取り組んで行く必要があります。

施策の方向性

- 子どもが自ら学び考える力の育成
- 人間性や社会性を育む心の教育
- 自他の生命尊重を基礎とした生きる力の育成
- 夢、希望、生きる力を持った青少年の育成
- 青少年健全育成のためのネットワークの構築



●用語説明
＊1　総合的な学習の時間：各学校が、地域や学校、児童生徒の実態等に応じて、これまでの教科の枠を超えて創意工夫を活かした学習を行い、自ら学び自ら考える力などの「生きる力」を育成するために設けられた。
＊2　子ども会：地域で社会活動を行う小学生・中学生を対象とした集まり。
＊3　社会体験学習：職場体験、福祉体験、勤労生産活動など、地域での様々な体験活動を通じて、働くことの意義や楽しさを実感したり、社会の一員としての自覚を高めたりする中で、自分の生き方について考えていく機会とする取り組み。
＊4　子どもアトリエ：次代を担う子どもたちが多様な作品に接することにより造形美術を身近に感じられる鑑賞活動や、描きつくることの楽しさを体験する活動。

人と人が共生・調和するまちづくり
- 創造性豊かな人を育むまち
  - 子どもたちの生きる力を育てる
  - 生涯にわたり個性、創造性を育む
  - まちづくりを協働するための市民の絆をつくる
- 健康でいきいきと暮らせるまち
  - 安心して子どもを産み育てられる環境をつくる
  - 男女が対等なパートナーとなる社会を実現する
  - 生涯を通じて健康に暮らせる社会をつくる
  - すべての人が安心して暮らせる地域社会をつくる

課題を解決するために

基本柱１　自主性と自立性を育む

子どもたちの自主性と自立性を育むため、総合的な学習の推進や地域活動、グループ活動への参画を促進する。

中　柱	内　容
自主的学習の推進	◎「総合的な学習の時間＊1」の推進 ◎社会的課題の学習の推進（環境・ＩＴ活用・福祉）　◎適性を伸ばす機会の充実 ◎生涯にわたり学ぶための基礎学力の習得
安心して学べる学校教育環境づくり	◎教材、教育機器の整備　◎安全で快適な学習環境の確保 ◎障害のある子どもへの就学支援
地域活動・グループ活動への参加	◎子ども会＊2活動・グループ活動の推進　◎ボランティア体験機会の拡充 ◎ボランティアリーダーの養成　◎ボランティア情報の提供

指標１	子ども会加入率	基準値（H17）	84.5%	目標水準（H23）	100%

基本柱２　直接体験を増やす

子どもたちのたくましさ、豊かな感性、生きようとする心や、自ら努力しようとする心を育てるために、社会生活の基本となる人間性と社会性を育てる直接体験の機会を増やす。

中　柱	内　容
人とのふれあいづくり	◎親子のふれあいの促進　◎子ども、青少年同士の交流促進　◎高齢者との交流促進 ◎障害のある人との交流促進　◎外国人との交流、国際理解教育の促進
自然とのふれあいづくり	◎野外体験学習の推進
芸術・文化とのふれあいづくり	◎音楽、演劇、美術等の鑑賞機会の充実　◎地域歴史文化の発掘 ◎創作活動の機会の充実
社会体験学習＊3の推進	◎体験学習による社会性の涵養、職業観の確立

指標２	「少年自然の家」の小・中学生の利用者数	基準値（H17）	11,674人	目標水準（H23）	15,000人
指標３	職場体験学習日数	基準値（H17）	1.68日	目標水準（H23）	3.0日
指標４	子どもアトリエ＊4参加者数	基準値（H17）	1,338人	目標水準（H23）	1,400人

基本柱３　基本的な生活習慣を育む

子どもたちが基本的な生活習慣を育めるよう家庭、学校、地域が連携して健全な環境づくりに取り組む。

中　柱	内　容
基本的な生活習慣を育む家庭づくり	◎家庭教育に関する情報の提供　◎家庭教育、しつけに対する親の意識高揚の促進 ◎家庭教育なやみ相談の実施　◎幼児に対するしつけ教育の充実
子どもを温かく見守り育む地域づくり	◎地域環境・人材を活かした教育の推進　◎地域に開かれた特色ある学校づくり ◎地域社会の教育力の充実　◎青少年への理解、関心を高める情報の提供 ◎ＰＴＡ等の子ども育成地域活動の充実　◎犯罪被害の防止
たくましい心と体の育成	◎食と健康に関する教育の推進　◎学校給食の提供　◎安全衛生教育の推進 ◎健康診断の実施　◎体育教育の推進　◎スポーツ部活動の充実
問題行動等の未然防止	◎教育相談の充実　◎不登校児童生徒への学習支援
非行防止	◎青少年補導活動の充実　◎健全な環境づくり

指標５	カウンセラー配置校数	基準値（H18）	47校／74校	目標水準	74校／74校

◎補完指標　・スポーツ少年団団員数
・児童・生徒体力テスト、少年愛護センター補導活動状況、非行少年等検挙補導数、見守り隊隊員数、児童・生徒1,000人当たりの不登校者数、チャレンジ教室相談者数、ライフパートナー派遣件数